NIE実践報告

1．タイトル：新聞を活用した多様な学習活動の展開

2．学校名

須磨学園中学校

3．実践者名（代表者名）

吉田勝司

4．学年

第１学年および第２学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会、国語、特別活動　第１学年123名　第２学年95名

6．単元（本時の学習課題）名

①「長崎研修新聞づくり」②「ワールドニュース・コレクション」③「ＩＣＴを活用した新聞づくり」など

7．目標(狙い)

・メディアとしての新聞のよさや魅力に気づかせ、新聞を活用しようとする意欲を育てる。
・新聞作りやスピーチを通して、思考力や表現力を育てる。

8．評価の視点

・スクラップや新聞づくり、スピーチなどの活動に積極的に取り組んでいるか。
・新聞やスピーチの中に自分の感想や意見が述べられているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

①「長崎研修新聞づくり」は宿泊研修後の事後学習、②「ワールドニュース・コレクション」は夏休み課題、③「ＩＣＴを活用した新聞づくり」は年間約１２回のＩＣＴ授業のうちの２時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①「長崎研修研修新聞づくり」
・テーマ設定と役割分担（１時間）
・新聞の作り方（１時間）
・パワーポイント資料および新聞づくり（４時間）
・発表会（文化祭当日３時間）
②「ワールドニュース・コレクション」
・各家庭で購読している新聞記事をスクラップ（夏期休業期間）
・新学期の交流会（１時間）
③「ＩＣＴを活用した新聞づくり」
・テーマ設定、文献調査、パンフレット収集、現地取材などの下調べ（夏期休業中）
・ノートパソコンを使った新聞づくり（２時間）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「長崎研修新聞づくり」では、グループで協力して新聞を完成させていた。「ワールドニュース・コレクション」では、たくさん記事を集めようとする意欲が伺えた。「ＩＣＴを活用した新聞づくり」ではノートパソコンでの編集作業に楽しく取り組んでいた。

12．成果と課題

広く浅くではあるが、多様な学習活動を通して、生徒に新聞のもつよさや魅力、新聞活用の楽しさを感じさせることが出来たと考える。今後の課題としては、新聞スクラップやスピーチなどの活動を恒常的に実施することや生徒の自治的な活動としての新聞づくりをすすめること、新聞コーナーの設置方法と掲示方法の工夫などがあげられる。